

過去琉歌大賞 一般の部

第一回「琉歌大賞」 テーマ「なし」

うた

恩納ナビ偲で 琉歌の里おんな

ゆがふ村つくて 代々に残さ

名護市 宮城 秀一

第二回「琉歌大賞」 テーマ「風」

かじ くがに

かりゆしぬ風に 黄金うたぬして

うた うんな

琉歌ぬ里恩納 花ゆ咲かき

沖縄市 平田 嗣光

第三回「琉歌大賞」 テーマ「波」

う いひ

打ちやり引く波に しばし時忘して

はまう

浜下りて遊ぶ 花の恩納

石川市 金城 美代子

第四回「琉歌大賞」 テーマ「世」

いくゆかさにていん うたぬきとううんな

幾代重ねても 琉歌の里 恩納

うみやまぬちゆらさき ゆすにまさてい

海山の美らさき 余所に勝て

本部町 渡慶次 道検

第五回「琉歌大賞」 テーマ「道」

うまんちゆ ゆし くがにみちひろ

御真人ゆ寄せて 黄金道 広げ

よよ

代々に花咲かす ゆがふ恩納

名護市 浦崎 政子

第六回「琉歌大賞」 テーマ「花」

うんなむらぎとう

恩納村 里に ゆうな花咲かち

ふくぎ

福木ふくふくと なだる美らき

ちゆ

恩納村 銘苺 輝子

第七回「琉歌大賞」 テーマ「月」

月しらもさやか 恩納白浜の

波に裾ぬらち 遊ぶ今宵

那覇市 銘苺 富子

第八回「琉歌大賞」 テーマ「母」

認めかきて染みて 織いなちえる紺地

母の志情の 藍花美らしや

米国 屋比久 ゆき子

第九回「琉歌大賞」 テーマ「夢」

うびぢやすき昔 んかし まんざついち 萬座月しらに
語らたる恋路 かた くいじ 夢ぬ如さ いみ ぐとう

那霸市 大城 盛嗣

第十回「琉歌大賞」 テーマ「橋」

崇元寺橋や うすく 湖汲みの戻い もと
安里女童の 憩ひどころ あさとみやらび ゆく

那霸市 真喜志 知子

第十一回「琉歌大賞」 テーマ「朝」

遊び庭のふく木 朝太陽よかめて
御万人すだまする まんちゆ しまの宝

恩納村 喜納 静

第十二回「琉歌大賞」 テーマ「平和」

平和なて知ゆる 昔い言葉ぬ
肝にうみ染みち 命ど宝

恩納村 外間 重子

第十三回「琉歌大賞」 テーマ「天」

慶良間渡にかかる 布丈のお太陽
あかね綾ましゆる 天のみわざ

那霸市 中村 靖彦

第十四回「琉歌大賞」 テーマ「命」

朝夕笑ひ誇い われ 命果報よ願て

斗搔風車も とうかちかじまや 拜みぼしやの

那覇市 大村 廣子

第十五回「琉歌大賞」 テーマ「島」

中城ぐすく 太陽が穴拝み

花の咲きわたる 津堅久高

中城村 源河 史都子

第十六回「琉歌大賞」 テーマ「心」

錦紗着物着ちん きんしゃちん 袖切らゆ着ちん

人ぬ善し悪しや 心さらみ

米国 比嘉 良信

第十七回「琉歌大賞」 テーマ「喜」

夫婦おし連れて 喜びの卒寿

十返りの花も 咲きゆらだいもの

沖繩市 中村 哲二郎

第十八回「琉歌大賞」 テーマ「恩納」

恩納ナベ歌や 幾世重ねても

朽ちることないさめ 村の誇り

宜野湾市 徳門 純子

第十九回「琉歌大賞」 テーマ「雨」

雨風も共に 凌ぎきやる浮世

老いの高坂も 手引き登ら

那霸市 宮城 盛吉

第二十回「琉歌大賞」 テーマ「琉歌」

恩納ナベギヤネが 情うち込めて

詠だる琉歌玉うたや 世世の宝

宜野湾市 田場 房子

第二十一回「琉歌大賞」 テーマ「光」

わすた組踊り 世界しげに鳴響とゆまれて

遺産ひちやなて光る 沖繩の宝

嘉手納町 金城 正子

第二十二回「琉歌大賞」 テーマ「思」

筆染めて思ひ 書き呉たる人の

恋し面影や まさて立ちゆき

那霸市 城間 とみ子

第二十三回「琉歌大賞」 テーマ「嵐」

嵐世の哀れ いきやす忘れが

世のととめ沙汰や 残ちいかな

那霸市 禱 キヨ

第二十四回「琉歌大賞」 テーマ「笑」

肝広さ母の 高笑ひしゆたる

姿惚ばれさ 秋の夜半

宜野湾市 香村 小夜子

第二十五回「琉歌大賞」 テーマ「親」

礎名の親に 思ひ語らとて

平和願立てる 夏の摩文仁

南城市 津波 松夫

第二十六回「沖縄県知事賞」 テーマ「浜」

恋路語らたる 故郷の白浜や

この歳なてをても 名残立ちゆき

恩納村 伊藝 峯子

第二十七回「恩納村長賞」 テーマ「声」

くず 去年のゴーヤー実や 六本から八十八

算取さんとういる声や 笑い誇りわれーふくい

宜野湾市 石川 貞子

第二十八回「琉歌大賞」 テーマ「海」

たこうやま 多幸山くだて 目にしちやる海や

七色なないろに染まるす 稀まりな景色あしち

読谷村 長嶺 八重子

過去琉歌大賞 児童生徒部の部作品(児童生徒の部は第五回から開催)

第五回「琉歌大賞」 テーマ「道」

豊かな自然に 情ある祖先

我らは誇りに あすの道へ

沖繩カトリック小学校 當山 千巖

第六回「琉歌大賞」 テーマ「花」

畑はたけにひろ広がる 電照でんしょうのあか明り

菊きくから届とどいた 秋あきのけはい気配

喜瀬武原小学校 二俣 ひな子

第七回「琉歌大賞」 テーマ「月」

水面に写る 月のみちかけは

夜を彩りし 海の化粧

恩納中学校 新垣 彰子

第八回「琉歌大賞」 テーマ「母」

母に連れられて 歩いた夕暮れ

やさしさあふれる 二つの影

具志川中学校 友寄 祥子

第九回「琉歌大賞」 テーマ「夢」

大空いっぱい 青赤黄緑

夢を色にのせ えがきたいな

恩納小学校 金城 エリナ

第十回「琉歌大賞」 テーマ「橋」

十五夜の月に ゆめの橋

うさぎとおもちを ついてみたい

大北小学校 宮城 沙紀

第十一回「琉歌大賞」 テーマ「朝」

黄金おうごんの蛹さなぎ 朝の陽と共に

羽化し羽広げ 青空舞う

真嘉比小学校 高良 優樹

第十二回「琉歌大賞」 テーマ「平和」

緑青々と 大地には花が

光あふれてる 平和な地球ほし

喜瀬武原中学校 仲間 佐和子

第十三回「琉歌大賞」 テーマ「天」

雲のきれまから 朝の光さす

天の輝きは 地球ほしの命

喜瀬武原中学校 仲間 佐和子

第十四回「琉歌大賞」 テーマ「命」

タンポポのわたげ とばしたい空へ

つぎはどこで咲く 花のいのち

喜瀬武原小学校 与儀 紋佳

第十五回「琉歌大賞」 テーマ「島」

ふるさとの心 美しい伝統

塩屋さゝの海神うんがみや 島の宝

塩屋小学校 宮城 力也

第十六回「琉歌大賞」 テーマ「心」

あかあかと沈む 海原の太陽

心なごませる 真栄田岬

三鷹市立第七中学校学校 三瓶 健明

第十七回「琉歌大賞」 テーマ「喜」

夏の甲子園 喜びをくれた

ぼくも行きたいな 夢の舞台

仲泊小学校 松田 弥斗

第十八回「琉歌大賞」 テーマ「恩納」

琉歌の里恩納 世界へと発信

伝えたい文化 村のほこり

恩納小学校 伊波 亜友夢

第十九回「琉歌大賞」 テーマ「雨」

梅雨明けの空が 青空に変わる

白い雲きれい もうすぐ夏だ

恩納小学校 山城 美希恵

第二十回「琉歌大賞」 テーマ「琉歌」

琉歌は沖縄の すばらしい文化

沖縄のほこり 村のほこり

喜瀬武原中学校 仲間 佐和子

第二十一回「琉歌大賞」 テーマ「光」

朝陽輝いて 被災地を照らす

一日も早い 復興の光

三鷹市立第三中学校 小山 道世

第二十二回「琉歌大賞」 テーマ「思」

人の道うたう てんさぐの花や

忘れてはならぬ 親の思い

嘉数中学校 仲村 美南

第二十三回「琉歌大賞」 テーマ「嵐」

夜嵐も過ぎて 雲のきれまから

恩納岳照らす 月の笑顔

嘉数中学校 仲村 美南

第二十四回「琉歌大賞」 テーマ「笑」

悲しみと苦難 乗り越えて生きた

しわしわの笑顔 おばあ の強さ

宮里中学校 山城 伊織

第二十五回「琉歌大賞」 テーマ「親」

親のきく畑 あざやかに咲いた

まんかいの花に 父の笑顔

喜瀬武原小学校 宇江城 大輝

第二十六回「沖縄県文化振興会理事長賞」 テーマ「浜」

美ら海の浜を 満月が照らす

キラキラと光り 平和祈る

喜瀬武原中学校 佐久間 盛矢

第二十七回「琉球新報社長賞」 テーマ「声」

島言葉宝 大切な文化

学びつなぎたい 声をあげて

山田中学校 上間 音花

第二十八回「琉歌大賞」 テーマ「海」

部活後の海辺 立ち寄りて見れば

果てしなく続く 僕の未来

山田中学校 宮平 智晴